

公共事業事前評価調書(平成 25年度予算要望)

所管課: 港湾課 担当班: 計画調査班

事業名	兼城港(花咲地区)整備事業		事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県		
事業箇所	久米島町兼城港							
事業の諸元	岸壁(-5.5) 100m、港湾施設用地4,600㎡、臨港道路190m、泊地(-5.5m) 11,000㎡							
事業の概要	<p>兼城港の花咲地区は、沖縄本島より西方約100kmに位置する久米島にあり、久米島町のライフライン(石油、ガス等)や公共工事等の産業物資の流通の拠点として、地域振興を担っております。</p> <p>現在、地元企業が生産する久米島産天然水が国内外へ急激に出荷を伸ばしているため、フェリー輸送から花咲地区を利用した貨物船輸送による大規模出荷を計画しており、地域の産業振興に大きな期待が寄せられている。</p> <p>しかしながら、花咲地区の施設規模では、貨物量に対しふ頭用地が狭隘であること、錯綜し危険であること、効率的な貨物輸送が確保できないなどの課題を抱えている。</p> <p>課題を解消するため、岸壁、港湾施設用地、臨港道路および泊地の整備を行う。</p>							
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》</p> <p>花咲地区は、タンカーや貨物船、その他台船等が頻繁に利用しており、平成23年実績の利用隻数は180隻に及んでいる。現状でも施設が足りない中、新たな貨物としてコンテナ貨物(天然水)を取り扱っていることから、荷役作業に支障をきたしております。今後、コンテナ貨物量の増大が見込まれることから、これらの課題解消は地域振興のためにも重要である。</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心的な荷役作業が確保。 ・フェリーから貨物船に変更することにより、輸送コストの縮減。 ・コスト縮減が図られることにより、町が取り組んでいる企業誘致(雇用)の促進。 ・企業が活性化する等、地域振興が促進。 							
事業期間	事業採択	平成 25年度	完了(予定)	平成 27年度				
全体事業費	6.2	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10		
費用対効果	B/C	総便益: B	43.70	(億円)	総費用: C	5.34	(億円)	基準年
	=	①輸送費用削減便益 43.7億円		①事業費 5.3億円		平成24年		
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画において位置付けがある。							
環境への配慮	港内における埋立、浚渫等に伴う赤土等の流出防止対策等を十分に行い、実施にあたっては影響が軽微となるよう努める。							
関係する地方公共団体等の意見	地元、久米島町から港湾荷役施設整備について、要望がある。							
概要図(位置図)								